

組立作業手順



圧接続方式

該当機種

● プラグ



・EtherNet/IP™、EtherCAT、PROFINET用
PCA-1446553

準備するもの

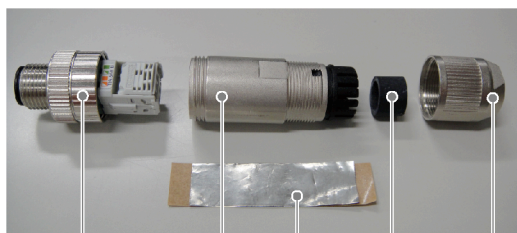
- ・ケーブルの被覆を剥くストリッパー
(推奨：フエニクス・コンタクト社製 WIREFOX-D 40 (1212161))
- ・シールド線をカットするニッパー(小型のもの)

注意事項

- ・長さに関する値は、基準値でありケーブルの種類によって異なります。
- ・使用できるケーブルは4~8 mmのシース外径または導体断面積がAWG26~22のものになります。
- ・ケーブルの圧接は10回まで再接続することができます。
- ・コネクタを再接続する場合は、電線の導体断面積が同じものもしくは大きいもののみ再接続できます。
例えば、AWG26の電線が使用された場合、再接続できる電線はAWG26以上の電線になります。
電線の導体断面積がより小さいものには適用できません。

部品構成

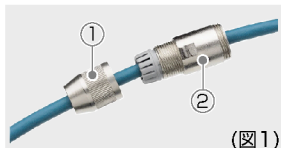
開封時にご確認ください。



メイルインサート ハウジング ガスケット
シールド線用シール ブレッシャナット

組立手順

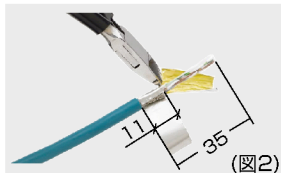
- 1 ケーブルにブレッシャナット①、ガスケットとハウジング②を通します。(図1)



- 2 ケーブルのシースを約35mmの長さを剥ぎ取ってください。シールドを約11 mm残します。(図2)

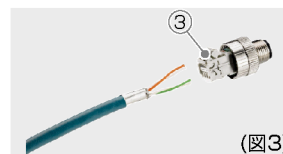
※：絶縁体を剥く場合、すぐ近くの電線を傷つけないようにしてください。

シールド線用シールを紙からはがし、シールド線にしっかりと巻きつけまめめます。



組立手順

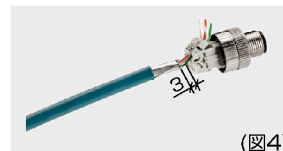
- 3 電線接続部③のカバーを解除してください。



- 4 カバーの中にある電線挿入口に個々の電線を差し込みます。(図4)

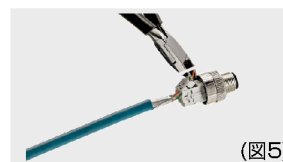
※：ケーブルの配線をする場合、正しい色の順番で配線するように注意してください。

各電線挿入口には1本の電線を入れるようにしてください。

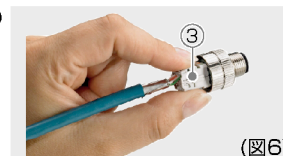


各電線の挿入口は、ピン配列表を参照ください。シールド線と電線接続部③の間隔は約3 mmにしてください。(図4)

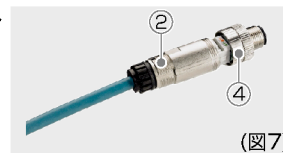
- 5 はみ出ている電線をニッパーで切つてそろえてください。(図5)



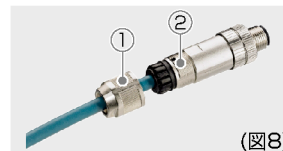
- 6 電線接続部③のカバーが一番下のところまで圧接されることで、電線が接続されます。



- 7 ハウジング②をメイルインサート④に押し付けてください。しっかりと支えてメイルインサート④にハウジング②をねじ込んでください。(図7)



- 8 ブレッシャナット①をハウジング②にしっかりとねじ込んでください。
締め付け工具は、WAF13とWAF16のスパナを使用できます。(図8)
締め付けトルク：2.7~3.3 Nm



完成後、ケーブルを軽く引っ張り緩みなどが無いか確認します。

配列表

ピン	配線色	信号
1	YE=黄色またはOGWH=橙/白	TD+
2	WH=白またはGNWH=緑/白	RD+
3	OG=橙	TD-
4	BU=青またはGN=緑	RD-

取扱い上のお願い

- ・本来の目的以外で使用しないでください。
- ・コネクタの抜き差しは通電しない状態で行ってください。
- ・濡れた手での作業は感電の原因となります。
- ・修理等は絶対に行わないでください。

SMC株式会社

URL <http://www.smcworld.com>

この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
EtherNet/IP™ is a trademark used under licence by ODVA.
©2010 SMC Corporation All Rights Reserved

No. PCA#-OMO0001